

長田区計画 (2016-2020)

平成 28 年 3 月

神戸市 長田区

もくじ

I	計画の趣旨・目的	1
II	2025年に向けた将来像	1
III	長田区の現状と課題	2
IV	2020年の目標像と取組み	
目標像1	誰もが暮らしやすい未来のあるまち	7
	(1) 地域の安全・安心を高める	
	(2) 健幸に暮らし続ける	
	(3) みんなで子育てできるまちを目指す	
	(4) やさしさとふれあいのあるコミュニティを育む	
目標像2	みんなが癒され居心地のいいまち	11
	(1) マナーが素敵なまちを目指す	
	(2) 地域でうるおいを育む	
	(3) 自然を通じて交流を生み出す	
	(4) 身近な住環境を整える	
目標像3	わたしの「おもろい」が見つかるまち	14
	(1) 芸術で豊かな日常を育む	
	(2) メイド・イン・長田で盛り上がる	
	(3) 長田らしさを発見・共有する	
V	取組みポイント	16
VI	みんなの大好きな長田 推進プログラム	17
VII	参考	18

I 計画の趣旨・目的

長田区では、2010年に2025年に向けた「区の将来像」ならびにその実現に向けた2015年までの5年間の実行計画として「長田区計画（以下、第1期計画）」を策定しました。

これまでの5年間、第1期計画に沿って区民のみなさまと協働し、区の個性を活かしたまちづくりをすすめ、様々な成果を得て、このたび計画期限を迎えることとなりました。

人口減少、少子化、超高齢化の進行、区民ニーズの多様化など、区政を取り巻く課題が変化する中で、引き続き、区民のみなさまとともにこれらの課題に対応し、魅力ある長田づくりを推進するため、次期5か年の実行計画となる「長田区計画(2016-2020)」を策定しました。策定にあたっては、区民アンケートおよび区民まちづくり会議を中心とする検討やワークショップ、意見募集（パブリック・コメント）等により多くの方々にご協力、参画いただきました。

本計画の目標年次である2020年は、東京でオリンピックが開催されることから、日本に世界の注目が集まる年となります。更に、阪神・淡路大震災から25年の節目の年でもあります。このため、本計画の実施にあたっては、区民のみなさまの声を聴き、協働の取組みをすすめ、長田における大震災の経験と教訓を世代を越えて伝え続けるとともに、震災から復興した長田の姿を、国内外に広く発信し続けていきます。

II 2025年に向けた将来像

2010年の第1期計画策定時に、2025年を目標年次とする区の将来像を描きました。本計画においても、引き続きこの将来像に向けて取り組みます。

～世界に誇れ！食と鉄人「グー」なまち 長田～

<将来像の背景は>

長田には誇れるものがあります。厚い人情、下町の雰囲気、国際性の豊かさ、音楽会やお祭りも多く、これらの取組みに携わる人も多数おられます。更に、「こなもん」をはじめとする多様な食文化、そしていまや長田の象徴となった鉄人28号など、世界に誇れるものがたくさんあります。

これらよき（good）ところを世界に知らしめ、震災から立ち上がってきた長田を見てもらいましょう。

<「グー」なまちとは>

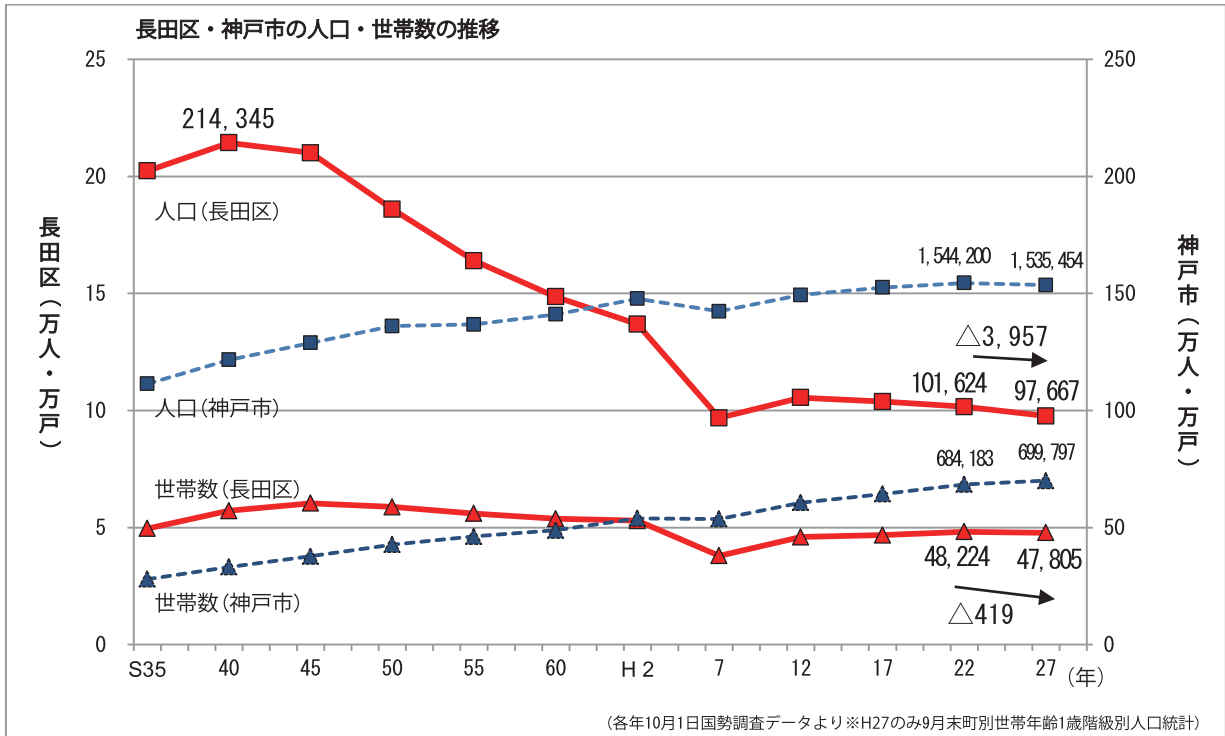
鉄人28号モニュメントの右手の「グー」は、震災から立ち上がり、力強く将来に向かっていく様を表現しています。また、長田神社前のキャラクター「グージー」は福をもたらすフクロウとして活躍中です。そしてgoodの「グー」。将来像は、この「グー」に力を込めて、これからもがんばっていこう！という思いがこもっています。

III 長田区の現状と課題

1. 統計データから見る長田区

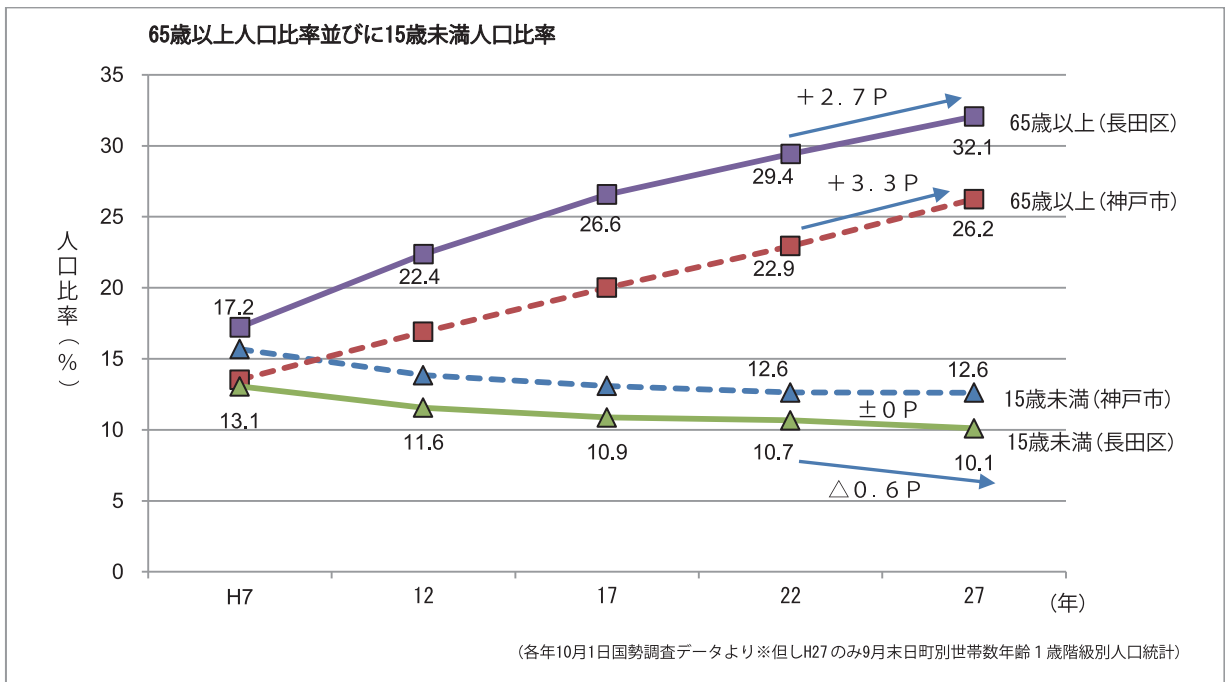
(1) 人口・世帯数ともに減少

- 人口は昭和40年の約21万4千人をピークに減少しており、平成22年比マイナス約4,000人の約9万8千人です。
- 世帯数も緩やかに減少を続けており、平成22年比マイナス419世帯の約4万8千世帯となっています。



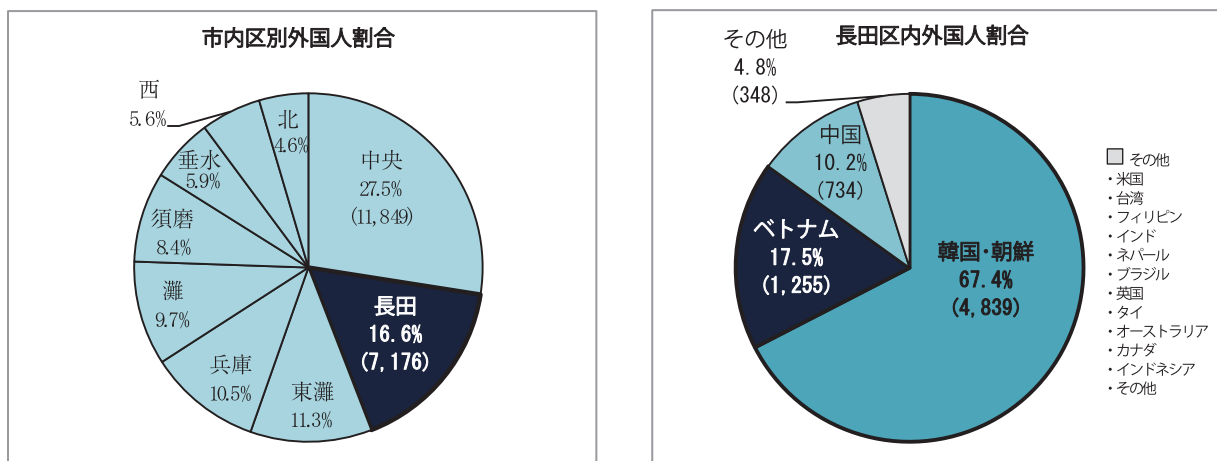
(2) 少子化・高齢化が進む

- 高齢化率は上昇を続け、約32%で全市9区中1位です。
- 15歳未満の子ども割合も減少傾向が続いており、約10%で全市9区中最下位です。



(3) 多様な外国人が住み暮らす

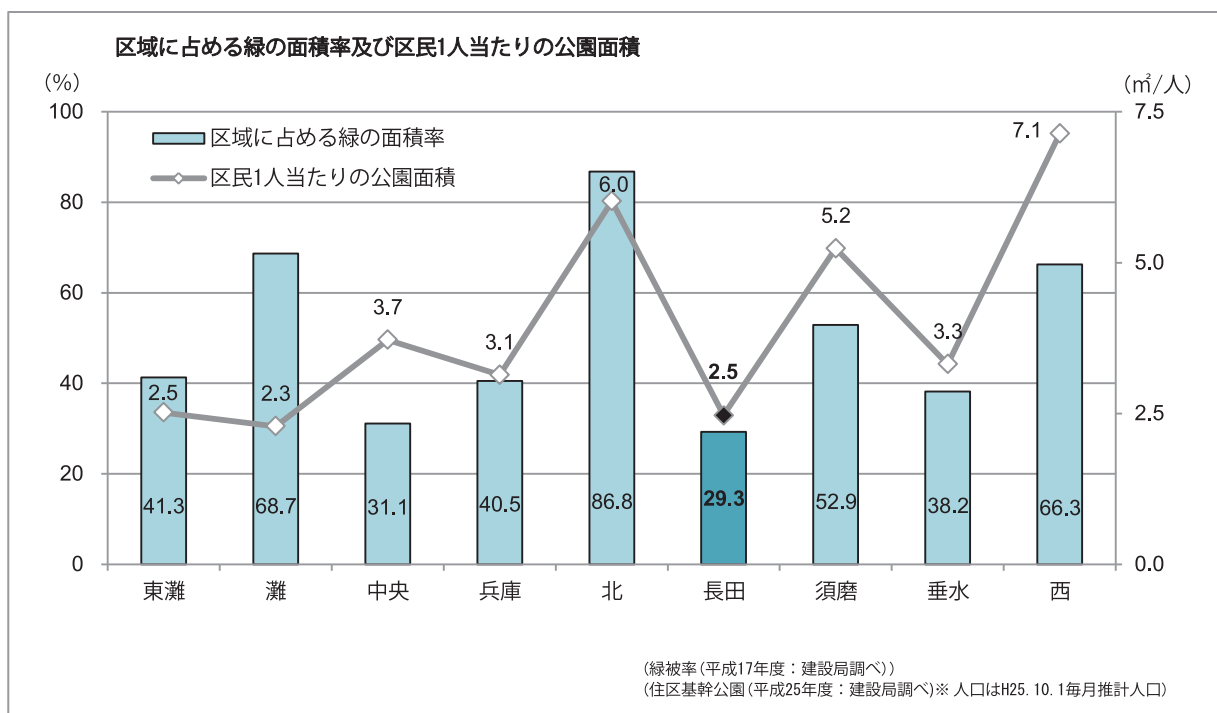
- 外国人数は 7,176 人であり、市内外国人の 16.6%を占めます(全市9区中2位)。
- 国籍別では、韓国・朝鮮籍の人が最も多く、区内の外国人全体の 67.4% (4,839 人)、次に多いのはベトナム籍の人で 17.5% (1,255 人) となっています。
- 市全体に占める長田区内の韓国・朝鮮籍の人の割合は 26.6%、ベトナム籍の人の割合は 37.2%で、全市9区中1位です。



(平成 27 年 9 月末日住民基本台帳届出数より)

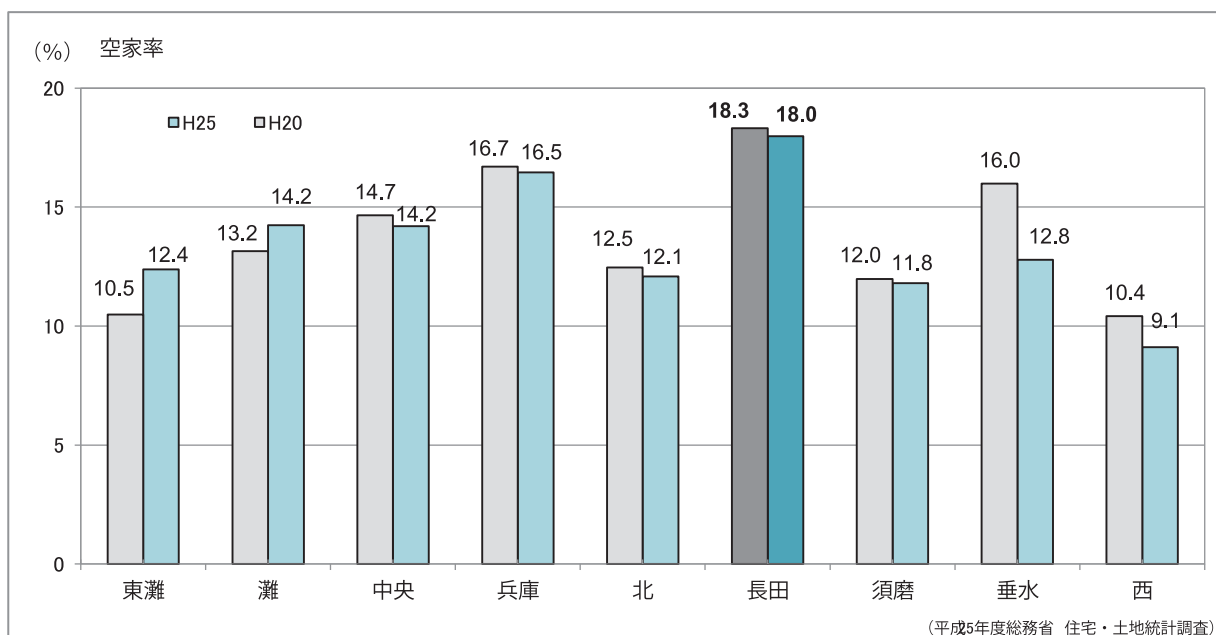
(4) 少ない緑の面積

- 区域中の緑の面積の割合は 29.3%であり、全市9区中最下位です。
- 区民 1 人当たりの公園面積は 2.5 m²/人であり、全市9区中 2 番目に少ないです。



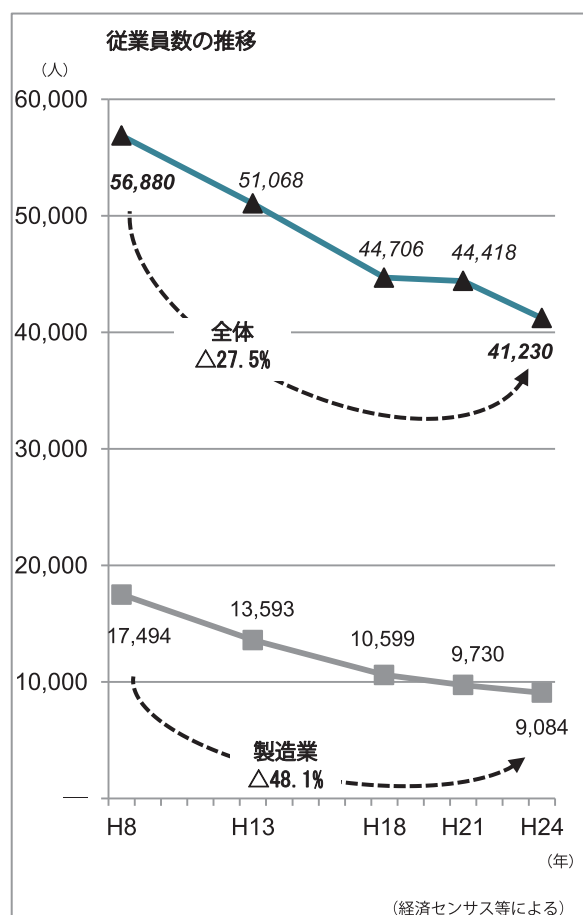
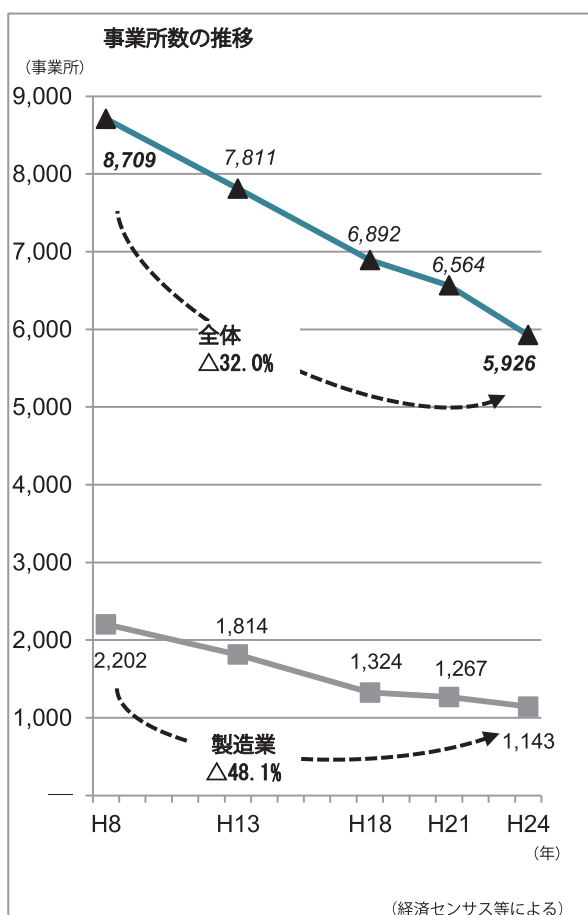
(5) 全市9区中最も高い空家率

- 空家率は18.0%となっており、全市9区中1位です。



(6) 事業所数、従業員数の減少

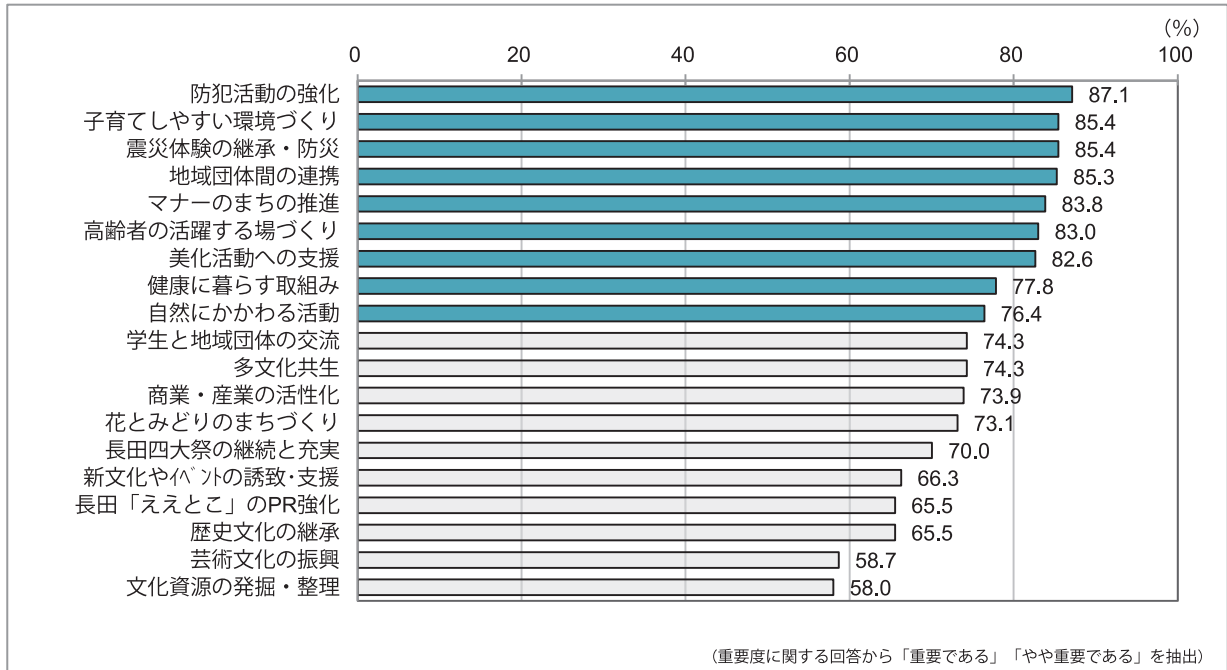
- 平成8年から平成24年の16年間で、長田区全体では事業所数、従業員数ともに約30%減少しました。
- 同期間においてもものづくりのまち長田を代表する製造業の落ち込みは著しく、事業所数、従業員数ともに約50ポイント減少しました。



2. 長田区民の感じる現状と課題（区民アンケート：H27年2月実施）

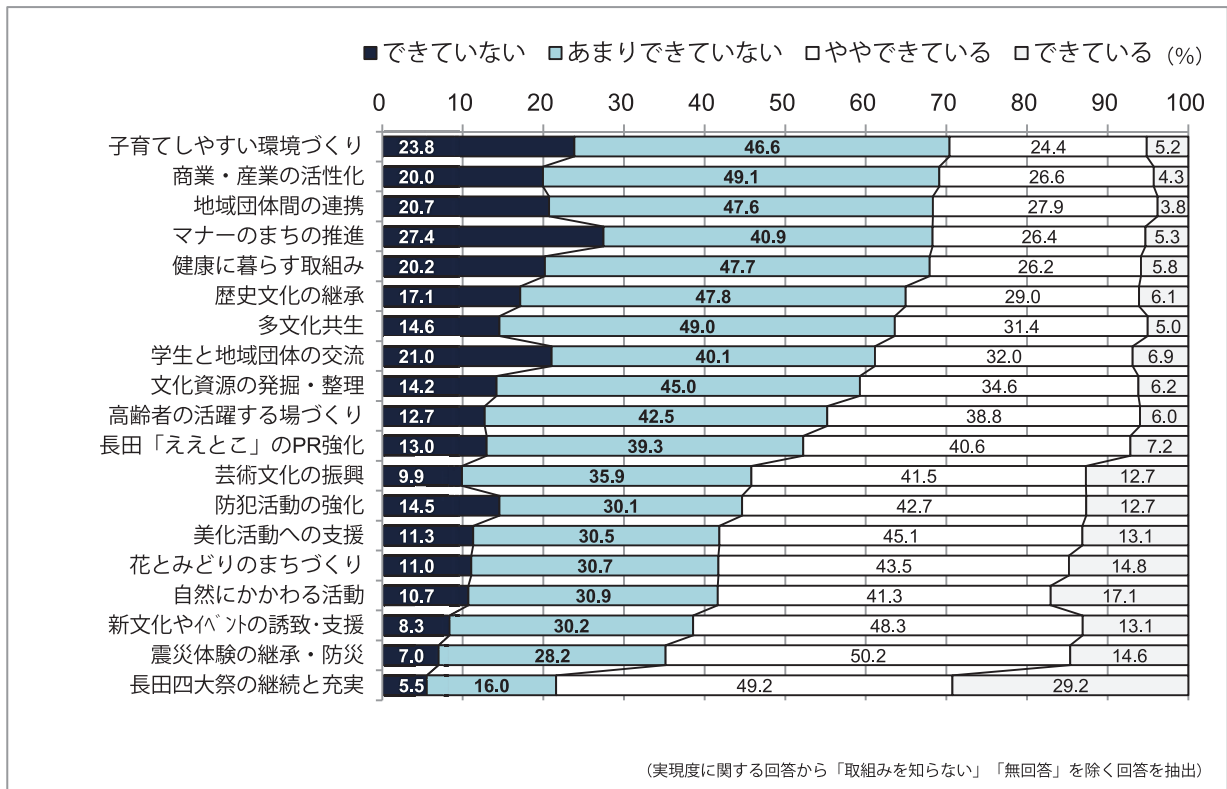
（1）重要と思う取組み

- 防犯、子育て、防災、地域団体間連携、マナー、高齢者の活躍、美化、健康、自然については、回答者の3/4以上が重要であると思っていることが分かります。



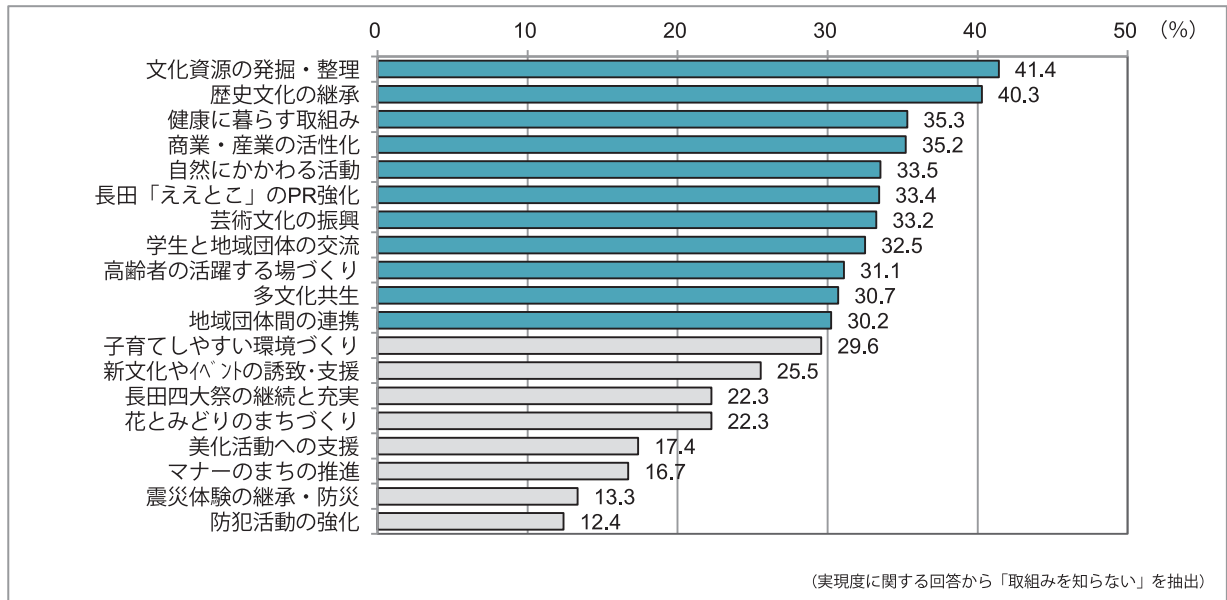
（2）出来ていないと思う取組み

- 子育て、商業・産業の活性化、地域団体間連携、マナー、健康、歴史文化、多文化共生、学生と地域団体の交流、文化資源の発掘・整理、高齢者の活躍、PR強化については、回答者の半数以上が、取組みが「できていない」又は「あまりできていない」と思っていることが分かります。



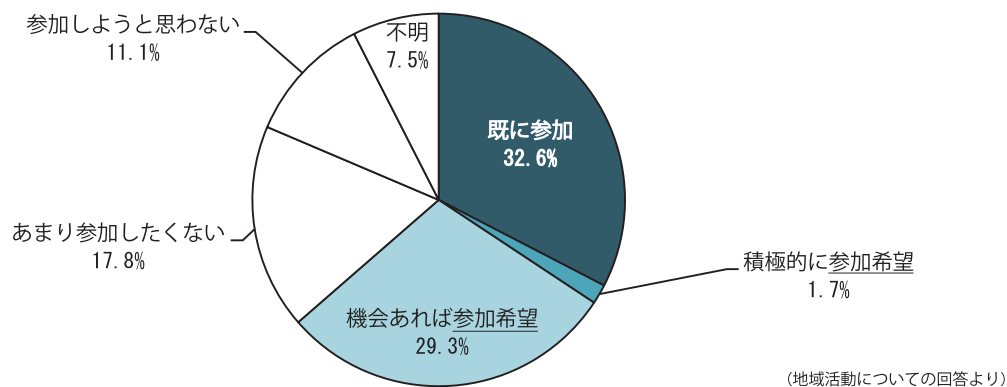
(3) 知られていない取組み

- ・取組みの実現度（「できている」「できていない」の問い）から、「取組みを知らない人」の割合を抽出したところ、知らない人が30%以上存在する項目も多数見られました。



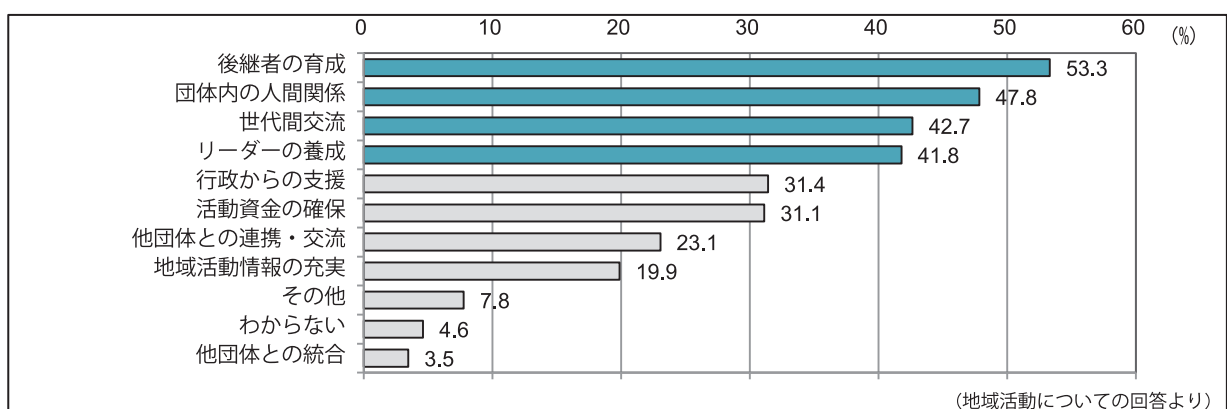
(4) 地域活動への参加状況

- ・既に参加している人が1/3 (32.6%)であり、参加希望の人が1/3 (31.0%)となっています。



(5) 地域活動の課題

- ・地域活動参加者の課題意識として、「後継者の育成」、「団体内の人間関係」、「世代間交流」、「リーダーの養成」が挙げられています。



IV 2020年の目標像と取組み

長田区の現状と課題、区民アンケートの結果等を踏まえ、2025年の将来像の実現に向け、本計画期間終了時の2020年における3つの目標像を設定します。

目標像1 誰もが暮らしやすい未来のあるまち

【背景】

区民の防犯、防災へのニーズは高く、健康や子育てに関する期待の高さもうかがえます。一方で、少子化、高齢化の進行、世帯の少人数化、女性の社会進出等の状況から、地域全体でこれらのニーズや期待に応えていく必要があります。

地域活動に積極的に取り組んでいる人は、地域での世代間交流や人材の確保に課題を感じており、一方でまだ活動に参加していない区民の中には、機会があれば参加したいと考えている人が一定数おられます。

長田区は、全市9区の中でも外国人の割合が高いことから、これに配慮した取組みが求められています。

このような状況を踏まえ、年齢、国籍の違い等の多様な個性にかかわらず、誰もがそれぞれのライフステージの変化に応じて、地域の中でいつまでも安全・安心、幸せに暮らし続けることができるまちを目指していく必要があります。

【取組み】

(1) 地域の安全・安心を高める

犯罪や災害など、身近にある危険を未然に防ぎ、いざという時に適切に対応できるように、区民一人ひとりの防犯、防災意識の向上に取り組むとともに、地域が主体的に取り組む安全・安心なまちづくりを支援します。

①地域で取り組む防犯活動の推進

安全・安心に関する地域活動に自主的に取り組む団体等の活動を支援するため、研修会の開催や資器材の提供等を行います。

地域住民等の防犯意識を高めるために、防犯カメラの設置や危険な箇所ならびに安全な場所等を地図にまとめる地域安全安心マップづくり等を支援します。



地域での見守り活動

②地域防災力の向上

消防機関、各種団体との連携を強化し、地域防災力の向上に取り組めます。

具体的には、区民一人ひとりが、土砂災害、地震津波災害等の災害種別に応じて、命を守るための行動ができるように防災知識の習得を支援します。あわせて、防災福祉コミュニティ等の取組みを支援し、地域防災に関する活動を発信PRします。

また、高齢者、障がい者等の災害時要援護者の支援体制づくりについて、地域特性に配慮しつつ各種団体と連携して引き続き取り組めます。



防災訓練(消火訓練)

(2) 健幸に暮らし続ける

住み慣れたまち長田で、誰もがいつまでも健やかで幸せに、自分らしく暮らし続けていけるまちづくりをすすめます。

①からだの健康

からだの健康を保つには、日常生活の中での健康づくりが大切です。いくつになっても健康でいられるように、からだの健康に関する講座の開催等による生活習慣病の予防や運動習慣づくり等に取り組みます。



ノルディックウォーク

②こころの健康

こころの健康を保つには、ストレスを理解し、それぞれにあった解消法を見つけることが大切です。こころの健康に関する講座や、区民が参加できるイベント等を通して、ストレスと上手につきあい、周囲の人がこころの病気を理解できるように取り組みます。



③みんなの健口

食べる楽しみをいつまでも持ち、健康に暮らすには、お口の健康が欠かせません。

みんなの健口を保てるようにお口の健康に関する講座の開催や、乳幼児期からの歯磨き習慣づくり等の取組みをすすめます。



ハッピー虫歯事業

④長寿で健康

これからも自分らしく健康であり続けることは、みんなのねがいです。

介護予防や認知症予防に取り組むとともに、介護が必要な状態となっても安心して地域で暮らせるよう、各種講座の開催や、認知症早期発見システムの推進、インフォーマルサービスの充実等による高齢者を支える地域づくりや介護する家族への支援等の取組みをすすめます。



(3) みんなで子育てできるまちを目指す

地域の中で安心して子どもを産み、育てられるまちを目指します。

また、子どもの年齢や生活環境に応じて、行政や地域の支援者等が連携して子育て家庭を見守ります。

①就学前の取組み

出産や子育てに関する情報を発信するとともに、身近に相談できる環境を整えます。

親同士や地域とのつながりを深めることができるように、児童館での講座の開催や、子育てサポーターの派遣等による子育てサークルの活動充実を支援します。あわせて、子育て支援者同士のネットワークを強化します。



よーせて広場

②就学期の取組み

地域で取り組む見守り活動や子どもの健全育成のための活動、子どもたちに関わる各種団体が連携した「ながたっ子ネット」が取り組む子どもの規範意識を育むための道徳教室や安全に関する知識の普及を図るための安全講演会等を支援します。

子どもの安全・安心を確保するため、地域安全安心マップを活用した子どもへの安全安心情報を周知する取組みや地域による子どもの居場所づくり等を支援します。



ながたっ子祭

(4) やさしさとふれあいのあるコミュニティを育む

長田が様々な人にとって暮らしやすいまちとなるように、地域コミュニティの活性化や交流促進を図るとともに、様々な人が住み暮らす長田ならではの多文化共生、ユニバーサルデザインのまちづくりをすすめ、やさしさとふれあいのあるコミュニティを育みます。

①地域でのコミュニティ活動の活性化と交流の促進

地域における人と人とのつながりを深めるため、地域が主体的に取り組むお祭り、イベント及び日々の継続的な地域活動等を支援します。

子どもから高齢者まで、世代を超えて幅広い交流ができるように、地域福祉センター等を活用していきます。また、高齢者が子どもに昔遊びを教える「あそびマエストロ」の養成、子育て拠点への派遣等により、高齢者が地域で活躍できる機会や高齢者と子どもとのふれあいの場をつくっていきます。



あそびマエストロ

②様々なひとへの配慮

様々な国籍、ルーツを持つ人が同じまちの中で互いを尊重しながら暮らせるように、外国人コミュニティと連携した情報の多言語化や提供など、多文化共生のまちづくりに取り組みます。

全ての人にやさしいまちづくりをすすめるため、ユニバーサルデザインの考え方の普及に取り組むとともに、各種の取組みを展開するうえで常に意識していきます。



【ミニ情報】長田区のシンボル

区の花 サルビア

サルビアは広報紙等で広く区の花を公募し、90種 2,177 通の応募の中から、区民の代表による選考の結果、「小さな花がたくさん集まってすばらしいながめを見せてくれる。長田区もこの花のようにみんなが協力してくれるまちになってほしい」という願いで、1984年12月19日に区の花に選ばれました。



長田区の花 サルビア

区の木 ハナミズキ

ハナミズキは広報紙等で公募を行い、503件の応募の中から、区民の代表者等による選考の結果、「春に咲く白やピンクの花が美しい。返礼という花言葉は震災で色々とお世話になった長田に適している」等の理由から、最多得票を獲得し、2003年10月8日に区の木に選ばれました。



長田区の木 ハナミズキ

区のマスコット なぁタン

長田区出身の漫画家 故・丘あつし氏により、阪神・淡路大震災からの復興を祈り、長田区を元気付けるため、平成10年にデザインされました。

- ★名 前：なぁタン
- ★誕生日：5月1日（小学3年生 8歳）
- ★好きなこと：歌って踊ること♪
- ★好きな食べ物：長田のぼっかけ入りのそばめし
- ★長 所：持ち前の笑顔と素直さでまわりのみんなを笑顔にすること
- ★短 所：よくドジをしてしまうこと
- ★トレードマーク：「音楽のまち長田」にちなんで、Nのマークが音符になっているところ♪



目標像2 みんなが癒され居心地のいいまち

【背景】

区民の多くは、マナー対策は重要だがまだまだ取組みが不十分との意識があります。

長田には、山、川、池といった魅力的な自然スポットがある一方で、まちなかの緑が少なく、公共的空間のうるおいづくりが課題となっています。

空家率は全市9区の中で最も高く、空家や空地の不適切な管理への苦情も後を絶ちません。

震災復興の区画整理や再開発等の事業を行った地域では、事業完了の目処が立ちつつある中で、整備されたまちを地域で守り育てていくことが求められています。一方で、細街路や家屋の密集等の課題が残る地域もあり、地域特性に応じた住環境の改善・保全が必要です。

このような状況を踏まえ、住んで気持ちよい、訪れて心地よい、みんなが癒され、快適にすごせるまちを目指していく必要があります。

【取組み】

(1) マナーが素敵なまちを目指す

住む人にとっても、訪れる人にとっても長田のまちが快適なまちであるように、区民一人ひとりに自転車駐輪・走行やごみ捨て等のルールを守る意識を持ってもらうなど、マナーアップに取り組みます。

① 自転車駐輪・走行マナーの啓発

駐輪マナーを高めるため、小学生による啓発ポスターの募集・展示を行うとともに、自転車走行マナーを高めるため、子どもを対象とした紙芝居や道徳教室の実施等を支援します。



駐輪マナー啓発ポスター



道徳教室

② ごみのないまちの実現

ごみ、空き缶、吸い殻等のポイ捨てに関するマナーを啓発し、まちの美化を促進するため、地域団体による駅前清掃やイベント参加型清掃を支援するとともに、区民全員参加による長田クリーン大作戦等を実施します。



駅前での清掃活動

(2) 地域でうるおいを育む

まちなかで気軽に花と緑を楽しめるように、地域ごとで取り組まれる緑化飾花、緑のカーテンづくり等の活動を支援します。

①まちなかの緑化飾花の推進

区民一人ひとりが家先の緑化飾花を楽しむ「花と緑の家なみづくり」を推進します。あわせて、「市民花壇」、「サルビア花壇」及び「ハミング広場」等の地域で取り組む緑化飾花を支援することで、うるおいある空間づくりに取り組みます。



飾花活動

②緑のカーテンの推進

自然による涼しさを体感し、地球環境問題への関心を高めてもらうことを目的とした「緑のカーテン」を普及させるために、公共施設へのゴーヤ苗の配布や、各家庭を対象としたゴーヤの育て方講習会を行います。



緑のカーテン

(3) 自然を通じて交流を生み出す

高取山・獅子ヶ池・苅藻川・新湊川など、長田ならではの自然スポットが人々の身近なものとなるように、その魅力を知ってもらう機会をつくり、人々の交流の場としての活用を促進するとともに、自然スポットの保護活動を支援します。

①自然を知る機会の創出

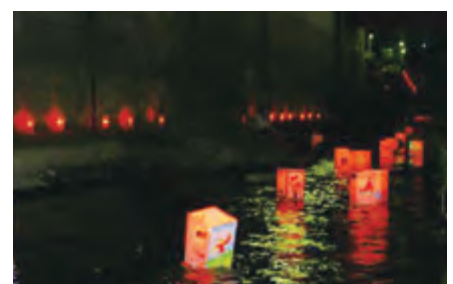
長田の自然に気軽に触れることでその良さを知らせてもらい、日常的な健康づくりや憩いの場としての利用を促進するため、スタンプラリー等のイベントを実施します。



ふれあい高取山耐寒スタンプラリー

②自然を守る活動の支援

苅藻川におけるホタルの舞う川を目指す取り組み、新湊川における「灯ろう流し」や川づくり、川あそび等の取り組み、獅子ヶ池における里山整備や桜の植樹など、各自然スポットにおける自然保護活動や清掃活動を支援します。



灯ろう流し(新湊川)

③自然を通じた人びとの協働と交流の促進

自然保護活動団体間の協働と交流促進のため、勉強会や意見交換会等を実施します。

区内外の人々の自然保護活動への関心を高め、活動参加へのきっかけをつくるため、自然スポットにおける環境学習や交流イベント等の実施を支援します。あわせて、小中学生同士あるいは小中学生と地域や団体との交流の場づくりに取り組みます。



自然保護活動(獅子ヶ池)

(4) 身近な住環境を整える

地域特性を踏まえつつ、空家・空地対策や住環境の改善・保全が図られるように、行政、区民、専門家等が連携して取り組みます。

①空家・空地問題への対応

周辺環境に悪影響を及ぼすような空家・空地について、適切な措置を図るとともに、所有者及び地域との協働による適正管理の支援を検討します。



②地域とともに取り組む住環境の改善・保全

南部の下町、中部の再整備された街、北部の山麓市街地など、地域特性を踏まえた住環境の改善・保全をすすめるため、専門家の派遣等により地域のまちづくり活動を支援します。

また、南部では、下町の路地空間を活かしつつ、細街路の整備や老朽住宅の除却を支援します。あわせて、空地が日常時のコミュニティ活動空間、災害時の防災空間となるように、地域による整備・維持管理を支援します。



細街路整備



整備前



整備後



整備した空地の活用例

目標像3 わたしの「おもしろい」が見つかるまち

【背景】

商業・産業の活性化や歴史文化の継承は区民意識の中でも課題とされています。人口減少、高齢化、少子化が続く状況が見られる中で、区民の長田への愛着を高める取組みが求められています。また、平成31年度に予定されている、新長田駅南地区再開発エリアへの兵庫県・神戸市関係機関の共同移転を見据えて、まちの活性化やにぎわいづくりに取り組む必要があります。

このため、長田ならではの多様な地域資源を活かして、多彩な魅力を発信し、区内外の人、子どもから大人まで、一人ひとりの興味を惹き付け離さないまちを目指していく必要があります。

【取組み】

(1) 芸術で豊かな日常を育む

音楽はもとより、ダンス、映画、美術、工芸、ものづくり等の様々なアーティストが長田に活動拠点を置く動きが見られます。

区民が地域での生活を楽しみ、心豊かに過ごせるように、長田ゆかりのアーティストが長田で展開する多様な芸術活動を支援します。更に、これらの芸術活動を通じてまちの新たな価値を創造し、にぎわいづくりと地域課題の解決にもつなげていきます。

①音楽のまち長田を深化させる

まちなかの身近な場所で、子どもから高齢者まで幅広い人々が、生の音、本物の音楽に気軽に触れる機会を増やすとともに、音楽に取り組む区民等の発表の場を確保するため、サロンコンサート、まちの音楽キャラバン隊等を実施します。



サロンコンサート



まちの音楽キャラバン隊

②多様な芸術活動でまちの創造性を刺激する

長田ゆかりのアーティストが地域の中で作品や活動を発表する場を確保するなど、地域に根ざして活動できる環境をつくります。

更に、アーティストと区民が協働する場をつくるなど、多様な芸術を通じてお互いの創造性を刺激することで、まちの新たな価値をつくり出し、まちの活性化、人々の交流促進及び地域課題の解決を図ります。



駐輪場アートワークショップ

(2) メイド・イン・長田で盛り上がる

地場産業の振興とまちの活性化のため、長田が誇る産業や名産品等「メイド・イン・長田」に光をあて、見て、触れて、味わう機会をつくり、区内外の人や子どもたちの興味と関心を引き出します。

①地場産業を見る触れる

区内外の人に、まちなかの工場や漁港等の産業施設の様子や、ものづくりの技や手づくりの良さを体験してもらい、人々との交流のきっかけをつくるため、産業観光ツアーを実施します。

子どもたちに長田の産業を知ってもらい、長田への誇りを育み、将来長田で働きたいと思ってもらうことも期待し、大学や商店街と連携した職業体験イベント等を支援します。



長田の漁業

②長田の食を味わう

長田の下町が感じられるこなもん・ぼっかけ、多国籍なまちに由来するアジア・エスニック料理、長田神社等の門前町を代表する多彩な和菓子、いかなごの釘煮等の長田で採れる食材を使った料理など、長田ならではの食を多くの人に味わってもらう取組みを支援します。



鉄板こなもん祭

(3) 長田らしさを発見・共有する

多くの人の長田のまちへの愛着が高まるように、長田の成り立ちを学び、人それぞれが感じる長田らしさの中に長田文化を見い出し、共感を生み、共有していきます。

①長田の成り立ちを学び広める

長田の歴史や文化を広め、次の世代へ伝えるため、長田に残る史跡、民話、風習等を調べ、多くの人に知ってもらえるように取り組みます。

震災の教訓を後世の人々に継承していくため、長田の震災関係資料を収集保存し、一般公開するとともに、各地域が継続的に行っている震災学習のネットワーク化等を支援することで、発信力を高めます。



追儼式（長田神社）

②長田らしさのブランド化、ネットワーク化

区内各地で行われる四季折々のお祭り、イベント、スポーツ大会等の多彩な行事、様々な国籍・ルーツの人が住み暮らすまちの雰囲気、気さくで人情が厚い区民性など、人それぞれが感じる長田らしさがあります。これらの長田らしさも文化ととらえ、より多くの人が長田文化を発見し、共有する機会を増やすため、長田文化のブランド化、ネットワーク化等に取り組みます。



V 取組みポイント

<取組み課題>

第1期計画では、“長田のまちで「グー」なところは何かを自分自身に問い、探し、広め、増やし、みんなで「グー」なところを誇る”ことを目標に掲げていました。

そして、この5年間、長田ならではの名物、名産品、地域に広がる魅力資源、地域団体等の特色ある活動、まちづくりに熱心に取り組む人といった「グー」なところを見つけ、発信PRし、みんなが誇れるものとなるように取り組んできました。

一方で、区民アンケート結果によると、これらの取組みに関する区民の認知は低く、また、各取組みに主体的に関わる人材の確保が課題となっています。

<取組みポイント>

本計画の実施にあたっては、以下の3点を取組みポイントとして、一人ひとりの感じる長田の魅力、長田をより良くするための活動やそれに取り組む人材など、長田の「グー」なところを広く知らせ、多くの人に「ええやん」と共感してもらい、みんなで「わけわけ」と共有していくことを意識し、「**長田の“ええやん”を“わけわけ”しよか**」と区民相互に呼びかけていく必要があります。

ポイント1 区民の力を結集・発揮

- ・まちをより良くしたいという区民の想いが取組みにつながるように、区民の力を結集し発揮できる環境をつくり、区民の主体的な取組みを支援します。
- ・取組みに必要なノウハウや情報の提供、ネットワークづくりを行います。
- ・取組みに多くの人に参加する機会をつくり、人材の育成につなげていきます。

ポイント2 地域の資源を発掘・活用

- ・歴史、産業、文化、芸術、自然及び地域ごとの特色ある活動といった長田の魅力資源を発掘・活用します。
- ・鉄人広場、商店街、地域人材支援センター、地域福祉センター、その他の公共的施設等を長田の活動拠点として活用します。
あわせて、空家・空地、空き店舗等について、活動拠点として活用していくことを検討します。
- ・区民をはじめ研究者、学生、ボランティアなど、長田の人材を発掘・活用します。

ポイント3 多様な手法で発信・検証

- ・長田の「グー」なところを「ええやん」と共感してもらい、広く共有につなげることを意識した発信PRに取り組めます。
- ・伝えたい人に応じて適切な広報媒体やPR方法を選択、開発するとともに、広報誌とホームページ、フェイスブック等との連携、映像やキャラクターの活用をすすめます。
- ・PRや取組みの効果をアンケート等で客観的に測定・検証し、次の取組みに反映します。

VI みんなの大好きな長田 推進プログラム

本計画の実施にあたっては、3つの取組みポイントを踏まえて、3つの目標像実現に向けたそれぞれの取組みを展開していきます。推進プログラムはその具体的な進め方を示したものです。

推進プログラムによって、みんなの心に長田が大好きという気持ちを育み、長田のファンを増やし、世界に誇れる「グー」なまち長田を目指していきます。

1 長田の「ええやん」発掘・収集

- ・「暮らしやすいまち」「居心地がいいまち」「“おもしろい”があるまち」を目指すそれぞれの取組みの中で、一人ひとりが感じる長田の「グー」なところを発掘・収集します。
- ・動画、ツイッター、スナップ写真、絵手紙、絵画等の多様な媒体を活用したコンテストの実施等により広く発信PRし、多くの人に「ええやん」と共感してもらいます。



2 長田の「ええやん」訪問・体験

- ・長田の史跡、名所、長田ならではの産業施設など、長田の「グー」なところを訪問・体験する機会を区民や企業等との連携のもと設けます。
- ・史跡や名所をめぐるウォーキングイベント、子どもたちが職業体験できるイベント等を実施します。
- ・ものづくり施設や漁業施設を見学、体験できる産業観光ツアー等を実施します。
- ・イベントやツアーの様子を記録し、広く発信PRすることで、参加者以外の多くの人にも「ええやん」と共感してもらいます。



3 長田の「ええやん」資産化・共有

- ・みんなが「ええやん」と共感し、みんなで共有するべき「グー」なところを、区民の意見を踏まえて、「長田の資産」に認定します。
- ・認定された「長田の資産」について、公式ガイドブックやプロモーション動画の作成、その魅力を活かしたイベント等の実施を通じて、更なる発信PRをしていきます。



4 長田が大好きな心を育む

- ・長田の「グー」なところを、発掘・収集・訪問・体験し「ええやん」と共感・共有する全ての取組みを、区民と協働で進めます。
- ・取組みに関わる区民を増やし、その中から主体的に地域活動等に取り組む意識のある人材を発掘し、育成へとつなげるとともに、区民の中にある長田への誇りと愛着を育てていきます。

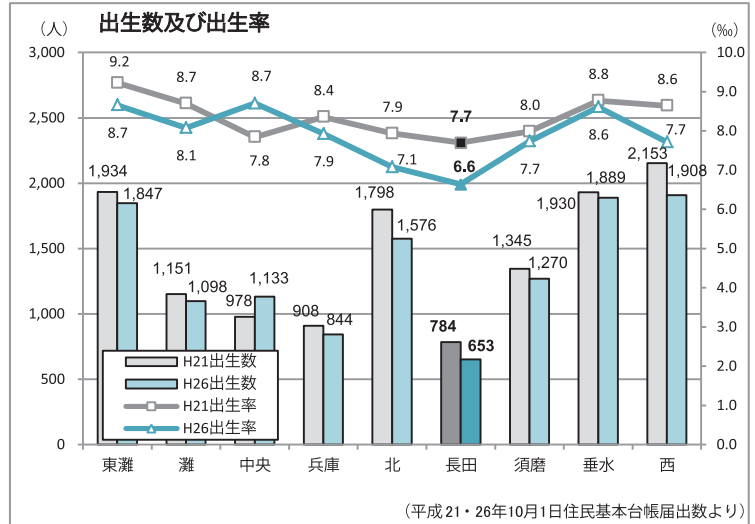


VII 参考

1. 統計資料

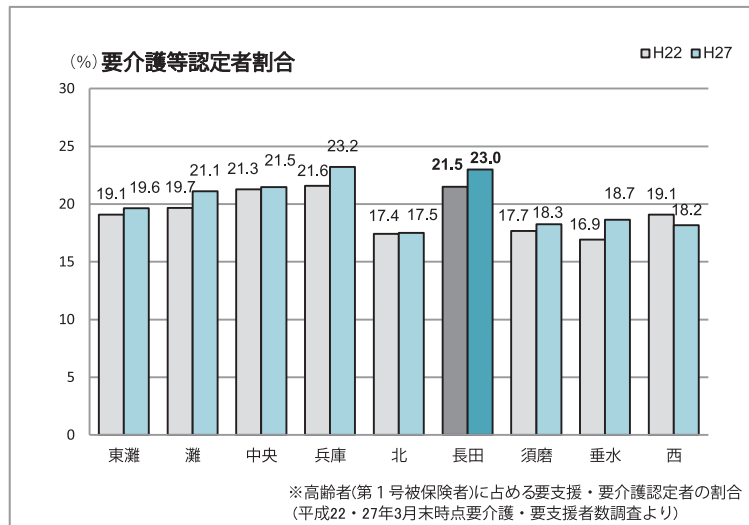
(1) 出生数・出生率の低下

- 出生数は平成21年比マイナス131人の653人、出生率は平成21年比マイナス1.1ポイントの6.6‰で、ともに全市9区中最も低いです。
- 神戸市全体でみると、出生数、出生率ともに中央区で増加している以外は減少しています。



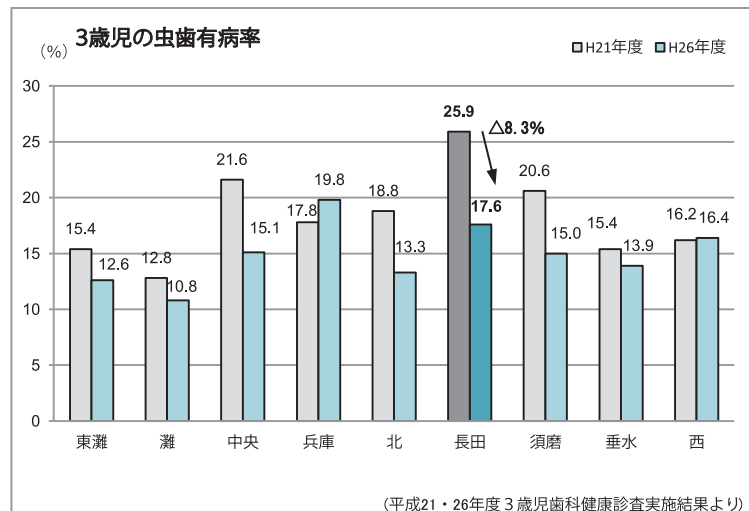
(2) 要介護等認定者割合の増加

- 要介護等認定者の割合が平成22年比プラス1.5ポイントの23.0‰で、全市9区中2番目に高いです。
- 神戸市全体でみると、要介護等認定者割合は増加しています。



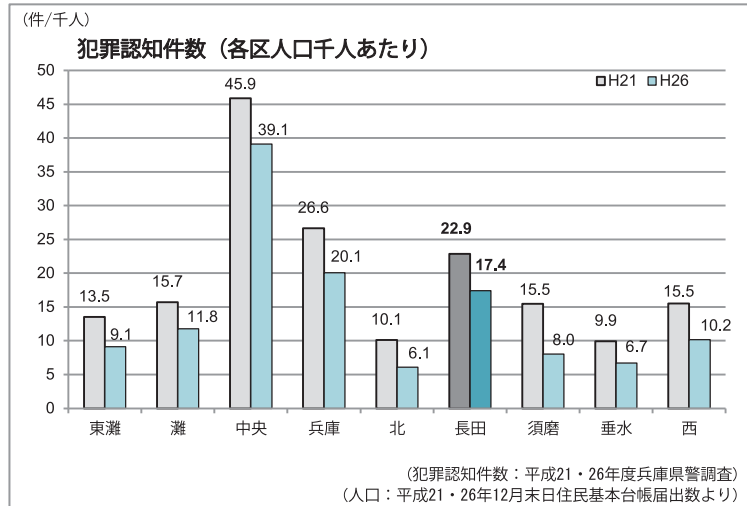
(3) 3歳児むし歯有病率の改善

- 3歳児のむし歯有病率が平成21年度から26年度の5年間でマイナス8.3ポイントの17.6‰で、大幅に改善しています。
- 神戸市全体でみると、3歳児のむし歯有病率は、兵庫区、西区で増加している以外は減少しています。



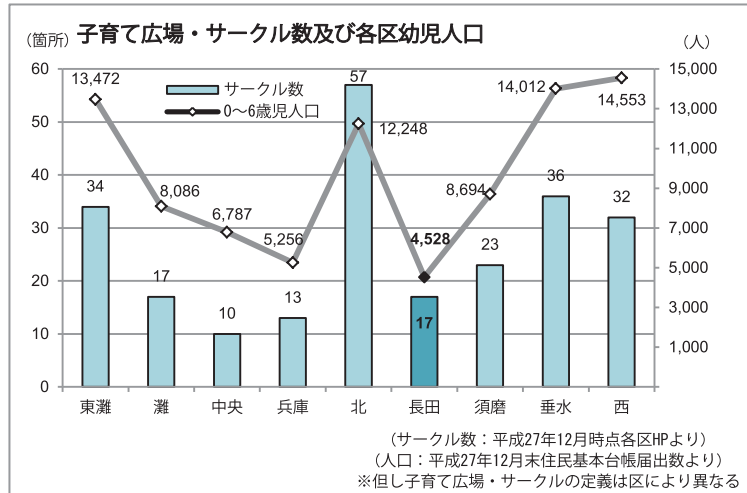
(4) 犯罪認知件数の推移

- 人口千人あたりの犯罪認知件数が平成21年から平成26年の5年間でマイナス5.5件の17.4件で、減少していますが、全市9区中3番目に高いです。
- 神戸市全体で見ると、全ての区で減少しています。



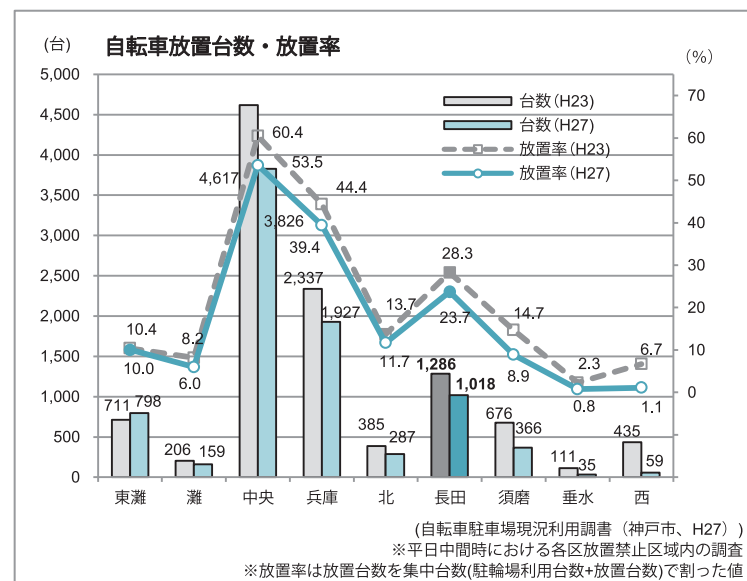
(5) 子育て活動と幼児人口

- 長田区の子育て広場・サークル数は17箇所です。
- 長田区の0～6歳児の人口は4,528人で、全市9区中1番少ないです。



(6) 高い自転車放置台数・放置率

- 自転車放置台数は平成23年比マイナス268台の1,018台、放置率はマイナス5.8ポイントの23.7%で、減少していますが、ともに全市9区中3番目に高いです。
- 神戸市全体でみると、東灘区を除いて自転車放置台数、放置率ともに、全ての区で減少しています。



2. 策定に向けた検討の経緯

区民まちづくり会議の総会、4部会（うるおい、いきいき、にこやか、のびやか）が中心となって、区民アンケートの結果や各種統計データを基に目標像ごとの5年間ですすめるべき取組みについて検討を行いました。

（1）区民アンケートの概要

平成27年2月10日から27日にかけて層化無作為抽出による区民及び区民まちづくり会議委員、婦人会、区老連、自治会、民生委員、小中学校PTAを対象に実施。

第1期計画で掲げている取組みについての区民目線での実現度・重要度等を調査。

平成27年 2月 区民アンケート実施

- ・配布数 3,928 通
（内訳）
層化無作為抽出 3,700 人
地域関係団体 228 人
- ・回収数 1,065 通（回収率 27.1%）

（2）検討の概要

平成27年 6月 区民まちづくり会議総会開催

- ・アンケート結果の詳細報告
- ・今後のスケジュールについて

平成27年 8月 区民まちづくり会議各部会開催

- ・各部会をそれぞれ開催
- ・関連事業の検討

平成27年10月 区民まちづくり会議委員へ素案（案）への意見照会

平成27年11月 区民まちづくり会議総会開催

- ・意見募集に向けた素案（案）の審議

平成27年12月 意見募集（パブリック・コメント）

- ・期間：平成27年12月8日～平成28年1月15日

平成28年 3月 区民まちづくり会議総会



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE 

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

BE KOBE
神戸は、人の中にある。

編集・発行：長田区役所

〒653-8570 神戸市長田区北町3丁目4-3 電話：078-579-2311

平成28年3月発行 神戸市広報印刷物登録 平成27年度第592号（広報印刷物規格A-6類）

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。